

残響下の音声知覚と明瞭度の改善手法

程島奈緒
(東海大学)

音声コミュニケーションでは、話し手と聞き手の距離が遠ざかるにつれて、音声の伝達経路の影響をより受けやすくなる。例えば、駅や空港などの公共空間ではスピーカから拡声された音声案内が聞き取りづらいつ感じることがあるが、その原因の一つに空間の雑音や残響による音声のマスクングがあげられる。

本講演では、まず室内で残響が発生するメカニズムに触れる。そして残響によるマスクングの影響によって、聞き手が健聴な若年者よりも、高齢者、聴覚障害者、非母語話者の音声明瞭度をより低下させることを述べる。これを受け、公共空間でより多くの利用者に明瞭な音声案内を提供する「音声によるバリアフリー」の実現を目指し、信号処理による手法と音声生成に基づいた手法をシミュレーションや心理実験の結果と合わせて紹介する。